

「竜鉄」を支援する取り組み

～龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会の活動を紹介します～

茨城県立竜ヶ崎第二高等学校

1 これまでの取り組み

- 2017（平成 29）年 7 月 協議会の一員として活動を開始
- 2018（平成 30）年 11 月 龍ヶ崎商工会議所主催「いがっぺ市」の企画として龍ヶ崎商店街「どらすて」、「健康館」の 2 会場で「「竜鉄」の歴史を探る」と題する展示会を竜ヶ崎一高、愛国学園大学附属龍ヶ崎高と協力して開催、ガイドツアーを実施する
- 2019（令和 元）年 6 月 竜ヶ崎一高が編集してクラウドファンディングで製作した『「竜鉄」の歴史を探る』第 1 号について、発送作業のボランティアとして協力する
- 7 月 関鉄レール☆ファン CLUB が企画した「国際交流列車」にボランティアとして協力する
- 8 月 FM うしくうれしく放送の「竜鉄」乗車レポートに竜ヶ崎一高の生徒とともにレポーターとして参加する
- 2020（令和 2）年 2 月 龍ヶ崎市歴史民俗資料館において、竜ヶ崎二高が企画した「「竜鉄」の歴史を探る second」展示会を開催
- 3 月 竜ヶ崎二高が編集した『「竜鉄」の歴史を探る』第 2 号を発行
- 8 月 「竜鉄」開業 120 周年記念セレモニーを竜ヶ崎二高写真部生徒が記録する
- 2021（令和 3）年 2 月 「竜鉄」開業 120 周年記念事業として、関東鉄道竜ヶ崎駅待合室において、竜ヶ崎二高が企画した「「竜鉄」の歴史を探る second」展示会を開催（展示期間～7/31）
- 3 月 龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会主催の公共交通フォーラム「ふるさとの公共交通を考える」に参加
- 4 月 関東鉄道×竜ヶ崎第二高等学校×龍ヶ崎市役所 『竜鉄サミット』を開催
- 10 月 写真部×「竜鉄」写真部の生徒が竜ヶ崎駅を訪れ、車庫内に停車車両を撮影
- 12 月 竜ヶ崎二高が主催する「龍ヶ崎【鉄・城濃いめ】な街歩き」を実施し 21 名の参加者と街歩きを実施

2 『「竜鉄」の歴史を探る』取り組み



《はじめに》

「竜鉄」の愛称で親しまれる関東鉄道竜ヶ崎線の活性化に高校生が取り組んだきっかけは、2017（平成 29）年 8 月に行われた客車庫解体イベントに竜ヶ崎一高生が参加したことでした。2018（平成 30）年 11 月 23 日（金）には、龍ヶ崎市内の 2 会場で「竜鉄」の歴史を探る、と題する展示会を開きました。展示会で使用したポスターをまとめたものが、『「竜鉄」の歴史を探る』第 1 号になります。「竜鉄」の歴史についてより興味関心を持っていただきたいと考え、2019（平成 31）年 3 月 1 日（金）から 5 月 10 日（金）までクラウドファンディングを実施し、多くのご支援をいただきました。

第 2 号のテーマは、「竜鉄」の最近の姿を紹介することです。竜ヶ崎二高生が編集に関わりました。2020（令和 2）年 3 月 14 日（土）には常磐線「佐貫駅」が「龍ヶ崎市駅」に生まれ変わりました。「竜鉄」にとっても、2020（令和 2）年が開業 120 周年、2021（令和 3）年にはワンマン運転開始 50 周年という節目の年になります。

今日も変わらず 4.5 km を走る風景とともに、かつて「竜鉄」に足を運んだ方々の紀行文や雑誌掲載記事を収録しました。昔を懐かしく思い出してもらいつつ、現在の風景を楽しんでいただければ幸いです。

①「竜鉄」を訪れた際の思い出を懐かしい画像を添えて寄稿していただきました



昭和 38 年の竜ヶ崎駅構内（撮影 風間 克美氏）



「マル通」と古典客車（撮影 風間 克美氏）



昭和 44 年の竜ヶ崎駅構内（撮影 秦野 敏夫氏）



昭和 46 年の関東鉄道佐貫駅（撮影 福田 均氏）

② 現在の「竜鉄」～竜ヶ崎二高生の活動から～



開業 120 周年記念事業を記録（令和 2 年 8 月 撮影 写真部）



公共交通フォーラムに参加（令和 3 年 3 月）

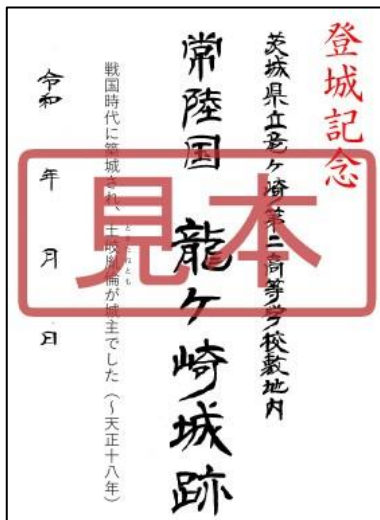


龍ヶ崎市×竜鉄×竜ヶ崎二高 竜鉄サミット(令和 3 年 4 月)



写真部×竜鉄 竜ヶ崎駅構内撮影会(令和 3 年 10 月)

③ 龍ヶ崎【鉄・城濃いめ】な街歩き～地域活性化の取り組みへ～



竜ヶ崎二高生が御城印を製作



市民遺産「竜鉄」を利用して街歩きをスタート

《街歩きのルート》

- ・関東鉄道竜ヶ崎線乗車（佐貫駅～竜ヶ崎駅）
 - ※竜ヶ崎駅到着後待合室ポスター説明並びに構内歴史的遺構見学
 - ・竜ヶ崎一高下道祖神社脇レンガ建造物解説
- 【龍ヶ崎商店街散策】

- ・旧高松邸石蔵見学
- ・八坂神社隣接 旧諸岡邸レンガ塀見学
- ・仙台藩龍ヶ崎陣屋跡見学
- ・竜ヶ崎二高到着
- ・龍ヶ崎城遺構解説 ※解説後自由散策
- ・竜ヶ崎二高正門前で解散



竜ヶ崎二高に遺構が残る「龍ヶ崎城」に登城！